

# 安全データシート

作成日 2020年 3月 5日

改訂日 2024年 3月 28日 (第2版)

## 1. 化学品及び会社情報

製品名称 ザルクリーン  
推奨用途 器具・物品、環境の除菌・洗浄  
使用上の制限 推奨用途以外には使用しないこと  
会社名 健栄製薬株式会社  
住所 大阪府中央区伏見町2丁目5番8号  
担当部門 学術情報部  
電話番号 06-6231-5822  
FAX番号 06-6204-0750  
連絡先 健栄製薬株式会社 学術情報部

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

#### 【物理化学的危険性】

引火性液体 : 区分2

#### 【健康に対する有害性】

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B

発がん性 : 区分1A

生殖毒性 : 区分1A

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (肝臓)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分2 (中枢神経系)

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当する。

### GHSラベル要素

#### 【絵表示又はシンボル】



#### 【注意喚起語】

危険

#### 【危険有害性情報】

引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

**【注意書き】****【一般的注意】**

医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。  
子供の手の届かないところに置くこと。  
使用前にラベルをよく読むこと。

**【安全対策】**

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する措置を講ずること。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡又は保護面を着用すること。  
取扱い後は汚染箇所や手をよく洗うこと。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

**【応急措置】**

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
火災の場合：消火するために指定の消火器を使用すること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

**【貯蔵】**

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
容器を密閉しておくこと。

**【廃棄】**

内容物／容器を地方／国の規制に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	界面活性剤 (ベンザルコニウム塩化物)	溶剤 (エタノール)	安定化剤
含有量	0.1w/v%	営業秘密	営業秘密
化審法番号	(3)-2694	2-202	非開示
CAS 登録番号	8001-54-5	64-17-5	非開示

注記：この値は製品規格値ではありません。

GHS 分類に寄与する成分 : 安衛法「表示すべき有害物」該当成分  
エタノール  
安衛法「通知すべき有害物」該当成分  
エタノール

---

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

---

#### 5. 火災時の措置

##### 【消火剤】

- 適切な消火剤 : 火災の場合は霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。  
使ってはならない消火剤 : 棒状放水(本品があふれ出し、火災を拡大させるおそれがある。)

##### 【特有の危険有害性】

- 特有の危険有害性 : 加熱すると容器が爆発するおそれがある。  
火災によって刺激性、有毒又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

##### 【消火を行う者への勧告】

- 特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。  
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 防火服/防災服/耐火服を着用すること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

---

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 回収が終わるまで十分な換気を行う。  
適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川、下水、土壤に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物は不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させ、容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 漏出物を回収すること。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 【取扱い】

- 技術的対策 : (取扱者のばく露防止)  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
(火災・爆発の防止)  
熱、高温のもの、火花、裸火及びその他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する措置を講ずること。
- 局所排気・全体換気 : 防爆型の換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項 : 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。  
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

	眼に入らないようにする。
	皮膚に付着しないようにする。
	飲み込まないようにする。
	衣服などに付着しないようにする。
	取扱い後は汚染箇所や手をよく洗うこと。
	推奨用途以外には使用しないこと。
	広範囲又は長時間使用しないこと。
接触回避	: 炎、火花又は高温体との接触を避ける。
<b>【保管】</b>	
安全な保管条件	: 容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 火気に近づけないこと。 直射日光の当たらない涼しいところに置くこと。 小児の手の届かないところに保管すること。 他の容器に入れ替えないこと。
安全な容器包装材料	: 製品に使用されている容器に限る。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 【管理指標】

管理濃度	: データなし
許容濃度	: 日本産衛学会の許容濃度データなし (エタノール) ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

### 【ばく露防止】

設備対策	: 適切な換気のある場所で取扱う。 洗眼設備を設ける。 手洗いや洗顔の設備を設ける。
保護具	: (呼吸用保護具) 呼吸用保護具を着用すること。 (手の保護具) 保護手袋を着用する。 (眼の保護具) 保護眼鏡又は顔面保護具を着用する。 (皮膚及び身体の保護具) 長袖作業衣を着用する。
衛生対策	: 取扱い後は汚染箇所や手をよく洗うこと。 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色澄明
臭い	: 特異なにおい
pH	: 弱アルカリ性
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 78°C (エタノール 100%として)
分解温度	: データなし

可燃性 (ガス、液体及び固体)	: 引火性液体 (消防法上は非危険物)
引火点	: 13°C (密閉式) (エタノール 100%として)
自然発火点	: 363°C (エタノール 100%として)
爆発下限界及び爆発上限界/	: データなし
可燃限界	
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度 (空気=1)	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 約 0.9
動粘性率	: データなし
粒子特性	: 適用外

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: 次亜塩素酸カルシウム、酸化銀及びアンモニアとゆっくり反応する。火災や爆発の危険を生じる。硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応する。火災や爆発の危険を生じる。 (ICSC 0044)
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触 火源との接触
混触危険物質	: 強酸化性物質、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、ハロゲン化物、窒素酸化物等

## 11. 有害性情報 (本品のデータではなく、10%ベンザルコニウム塩化物液と 100%エタノールの情報を示す)

急性毒性 (経口)	: (ベンザルコニウム塩化物) ラット LD <sub>50</sub> =304.5mg/kg (EPA RED(2006)) ラット LD <sub>50</sub> =240mg/kg (PIM G022(1999)) (エタノール) ラット LD <sub>50</sub> =6,200-15,000mg/kg (DFGOT vol. 12(1999))
急性毒性 (経皮)	: (ベンザルコニウム塩化物) ラット LD <sub>50</sub> =930mg/kg (EPA RED(2006)) ラット LD <sub>50</sub> =1,560mg/kg bw (PIM G022(1999)) (エタノール) ウサギ LD <sub>50</sub> =20,000mg/kg (SIDS(2009))
急性毒性 (吸入 (蒸気))	: (ベンザルコニウム塩化物) データなし (エタノール) ラット LC <sub>50</sub> =3837ppmV (SIDS(2009))
皮膚腐食性/刺激性	: (ベンザルコニウム塩化物) ラビット 腐食性 (EPA RED(2006)) (エタノール) ウサギ 刺激性なし (SIDS(2009))
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: (ベンザルコニウム塩化物) データなし (エタノール) ウサギ 中等度の刺激性 (SIDS(2009))、7日以内に回復 (ECETOC)

	TR No. 48(2), 1998 et al)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: (ベンザルコニウム塩化物) データなし (エタノール) データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: (ベンザルコニウム塩化物) データ不足のため分類できない (エタノール) データなし
発がん性	: (ベンザルコニウム塩化物) ラット及びマウス 発がん性なし (EPA RED(2006)) (エタノール) ヒトに対して発がん性がある (IARC-Gr. 1) (エタノール) 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明 (ACGIH -A3(2008))
生殖毒性	: (ベンザルコニウム塩化物) ラット 母動物の体重減少、胎児数や着床数の減少 (HSDB(2010)) (エタノール) ヒト 飲酒により流産の発生または発生リスクが増加する (IARC vol. 44(1987)) (エタノール) ヒト 妊婦の習慣的な飲酒により胎児性アルコール症候群が認められる (SIDS(2009)など)
催奇形性	: データなし
特定標的臓器毒性	
単回ばく露	: [区分3 (気道刺激性)] (エタノール) ヒト 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
	[区分3 (麻酔作用)] (エタノール) ヒト 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; ACGIH(2001))
反復ばく露	: [区分1] (エタノール) ヒト 肝臓 (DFGOT vol. 12, 1999)
	[区分2] (エタノール) ヒト 中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)
誤えん有害性	: データなし

**12. 環境影響情報** (本品のデータではなく、10%ベンザルコニウム塩化物液と100%エタノールの情報を示す)

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	: (ベンザルコニウム塩化物) 甲殻類 (オオミジンコ) $EC_{50}=0.018\text{mg/L}/48\text{hr}$ (HSDB, 2011) (エタノール) 藻類 (クロレラ) $EC_{50}=1000\text{mg/L}/96\text{hr}$ (SIDS, 2005)
-----------------	--

水生環境有害性 長期 (慢性)	: (ベンザルコニウム塩化物) データなし (エタノール) 甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)
残留性・分解性	: (エタノール) 急速分解性あり (BOD による分解度: 89%(既存点検, 1993))
生体蓄積性	: (エタノール) log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)
土壌中の移動性	: データなし
他の有害影響	
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に列記されていないため、分類できない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 【化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報】

廃棄物の処理方法	: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装	: 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

### 14. 輸送上の注意

#### 【国際規制】

##### 国連番号、国連分類

国連番号	: 1170
正式輸送名	: エタノール又はエタノール溶液
分類または区分	: 3
容器等級	: II
指針番号	: 127
特別規定番号	: 144

##### IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号	: 1170
正式輸送名	: エタノール又はエタノール溶液
分類または区分	: 3
容器等級	: II
特別規定番号	: 144

##### IATA 航空危険物規則書

国連番号	: 144
正式輸送名	: エタノール又はエタノール溶液
分類または区分	: 3
危険性ラベル	: Flamm. Liquid
容器等級	: II
特別規定番号	: A3; A58; A180

##### 環境有害性

#### MARPOL 条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当)	: 非該当
-----------------	-------

#### MARPOL 条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

発がん性	: 区分 1, 1A, 1B 該当物質
------	---------------------

	エタノール
生殖毒性	: 区分 1, 1A, 1B 該当物質
	エタノール
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 区分 1 該当物質
	エタノール
バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II	: 有害液体物質 (Z 類)
改訂有害液体物質及び IBC コード	エタノール
<b>【国内規制がある場合の規制情報】</b>	
船舶安全法	: 引火性液体類 分類 3
航空法	: 引火性液体 分類 3

## 15. 適用法令

### 【当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令】

労働安全衛生法	: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 名称表示危険/有害物 エタノール 名称通知危険/有害物 エタノール
消防法	: 非危険物
大気汚染防止法	: 揮発性有機化合物 (VOC) エタノール
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない

## 16. その他の情報

### 【参考文献】

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECN06182012)  
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253:2019  
JIS Z 7252:2019  
2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)  
厚生労働省 GHS モデルラベル・SDS 情報  
独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果データベース

### 【責任の限定について】

本記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には用途に適した安全対策を実施の上でご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証をなすものではありません。